

自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価																				
データ 分析 表	データ表			データグラフ  <table><caption>データグラフの値</caption><thead><tr><th>項目</th><th>平均</th></tr></thead><tbody><tr><td>「乳児保育」</td><td>4.93</td></tr><tr><td>「3歳未満児保育」</td><td>4.38</td></tr><tr><td>「3歳以上児保育」</td><td>4.32</td></tr><tr><td>「教育保育の配慮事項」</td><td>4.69</td></tr><tr><td>「健康・安全」</td><td>4.55</td></tr><tr><td>「子育ての支援」</td><td>4.61</td></tr><tr><td>「職員の資質向上」</td><td>4.56</td></tr></tbody></table>	項目	平均	「乳児保育」	4.93	「3歳未満児保育」	4.38	「3歳以上児保育」	4.32	「教育保育の配慮事項」	4.69	「健康・安全」	4.55	「子育ての支援」	4.61	「職員の資質向上」	4.56
	項目	平均																		
	「乳児保育」	4.93																		
	「3歳未満児保育」	4.38																		
	「3歳以上児保育」	4.32																		
	「教育保育の配慮事項」	4.69																		
	「健康・安全」	4.55																		
	「子育ての支援」	4.61																		
	「職員の資質向上」	4.56																		
	内容	項目数	平均																	
「乳児保育」	15	4.93																		
「3歳未満児保育」	32	4.38																		
「3歳以上児保育」	53	4.32																		
「教育保育の配慮事項」	16	4.69																		
「健康・安全」	29	4.55																		
「子育ての支援」	18	4.61																		
「職員の資質向上」	9	4.56																		
計	172	4.50																		

| 総合 評価 | 今年度は、子どもたち一人ひとりに合わせた丁寧な関わりを意識しながら保育をすることができたことで、職員自身も質の向上へと繋がった。保護者参加型イベントの企画や立案を行っていき、開催後のアンケートの回答では保護者の方からの温かいお言葉をいただいたり、職員自身が保育を振り返る機会となったりするなど、今後の課題改善や意欲向上へと繋がった。5歳児が主となり生活介護事業所のご利用者の方と『アトリエカフェ』に挑戦し、より良い共生社会の構築を目指した。日常的な関わりを継続することで、子どもたちもご利用者も共に関わる喜びを感じ、お互いが安心できる場所となっていることもあり、今後も併設している生活介護や特養との連携を取り、幼老障の関わりを大切に継続していきたい。 | | |

事業計画（今年度の重点目標）

項 目	内 容
健全な職場環境の確立	ワークライフバランス、セクハラ、パワハラのない職場づくりの推進をしている組織であることの発信及び理解の促進 ・フロアを超えた連携が図れるよう、ケース会議等とは別に、必要に応じてフリー（リーダー）会議を行い全体に共有していく
取り組みの発信	信頼を築くことを目的に、日頃からの高齢者・障害者・保護者へ安全性を高めるための取り組み等の発信 ・年一回展示会を実施し、プロジェクト活動の可視化を行ったり、ポートフォリオを作成したりして、掲示していく
オープン化・隠さない組織	苦情・事故・感染症等について、その内容と改善・対応の状況についての公表及び説明 ・苦情・事故・感染症等の事案発生時に、その内容と改善・対応の状況についてブレインのお知らせ機能にて配信していく